

佐渡まで掛かれ虹の橋

松下幹生

越後の海の その彼方
うっすら見える 佐渡の島影
お役人から 声掛かり
佐渡の金山 掘るために
稼いでくると 勇んで行った
あの人どうして いるかしら
身体を壊しちゃ 元も子もなし

佐渡によことう 天の川
七夕星の あなたと私
飛んでは行けぬ 四十九里
たらい舟では 行けやせぬ
怒濤渦巻き 吹き付ける雪
あの人どうして いるのやら
涙を集めて 便りに託す

あなたを思い 海を見る
山を二つに 割るほど辛い
危険な務め やり遂げて
帰るその日を 待ちわびる
柏崎から あの人思う
あの人どうして いるかしら
島まで届けよ 虹の掛け橋